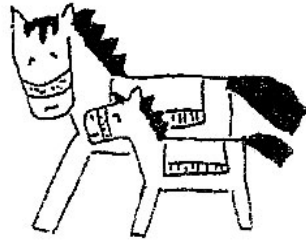


♪  
お馬のかあさん  
やさしいかあさん  
子馬をみながら  
ぽっくりぽっくり  
あるく

# おうまのおやこ

子育ても  
あせらず待ちましょ  
ポックリ、ポックリと

29年 9月 NO.274



〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2  
高松保育園内地域子育て支援センター  
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857  
<http://oumanooyako.sakura.ne.jp/>

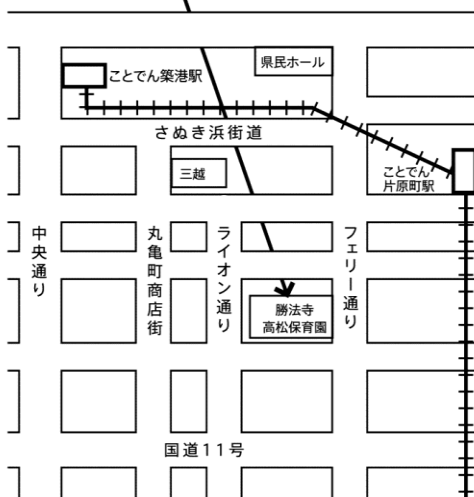
(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～		9月の主な活動	～お気軽にどうぞ～
9月 2日	土	体験保育 10:00～12:00	お子様と同じ年齢のクラスに入って いっしょにあそびましょう。
9月 22日	金	健康・育児相談 11:00～12:00	園医師（小児科）にゆっくり 相談できます。（予約要）
9月 22日	金	おはなしの会 10:00～11:30	「小さい秋みつけた！」をテーマに、 わらべ唄や大型絵本、ペープサートも あります。
9月 28日	木	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	「フォレストーズかがわ」の方から 木と森の話や木工ワークショップを します。（予約9/25まで）
9月 30日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方も子育て 体験においで下さい。
9月 30日	土	絵本と小物づくり 14:00～16:00	フィルムケースをつかって水笛を つくります。どなたでもおいで下さい。

・火～土の9:00～18:00までは、園内開放して  
いますので、親子でご来園下さい。  
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談（月～土）9:00～18:00  
しつけや子育てについての悩み、保育園生活  
入園・見学についての相談もどうぞ。

香川県高松市御坊町2-2  
高松保育園 地域子育て支援センター



金子みすゞ童話全集  
「空のかあさま・下」より

ゆ 藍（あい）のにおいのあたらしい、  
か なたのたもとほうれしいな。  
と 誰かみたかた、ちよいとみる。  
ん とんとたたいて、手をいれて、  
そ 花のあかるい背戸（せど）へ出て、  
う りと踊りのまねをする。  
ゆ うがおの  
花 のあかるい背戸（せど）へ出て、  
そ っと踊りのまねをする。

袂（たもと）のゆかたはうれしいな、  
よ そゆきみたいいな気がするよ。

たもと



看護専門学校の学生さん40名（うち男子17名）が実習に来ました。その実習記録から看護学生から見た子どものようすや理解できたことなどクラス毎にご紹介します。

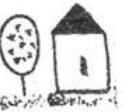


### ことりぐみ（乳児）

登園・・・筋肉の発育や運動神経、平衡感覚の発達によって、ひとり歩きが始まり、ひとり歩きが可能な乳児は母親と手をつなぎ「よいしょ」などと声をかけながら楽しく登園していた。まだ出勤前のため、抱っこされて急いでいる母親も見られたり、母親と離れる時に泣いたりしている乳児に対して保育士が笑顔で挨拶・声をかけると保護者も乳児も安心するようすがみられ、信頼関係を理解することができた。日誌に保護者が起床時間、朝食のメニュー、授乳時間を記入し、その後の保育につなげられるよう、また乳児の生活のようすを把握できるよう家庭との連携について理解することができた。

### つくしぐみ（1歳児）

1～2歳児における身体的・精神的・社会的特徴について・・・クラス内には、12～3月生まれの児がおり、身長や体重にも少し差がある。運動機能においては、手先の細かい運動が発達して、クラスの室内に落ちている小さな米粒を拾って見せてくれた児もいた。積木を重ねて遊ぶことが可能であり、それを倒して楽しむ児もみられた。しかし、1つのことにずっと集中しているわけではなく、色々なおもちゃを使用して遊んだり、室内を走り回ったりして遊ぶ児が多かった。コミュニケーションとしては、「ドウゾ」「イル」など単語中心の表現が多い。写真やイラストを見て「ワンワン」「ブーブー」と言っている児もいた。その他、保護者と離れるときの分離不安、自我のめばえに関する怒り、悲しみや嫉妬、喜びなど様々な感情表現がみられた。泣いて



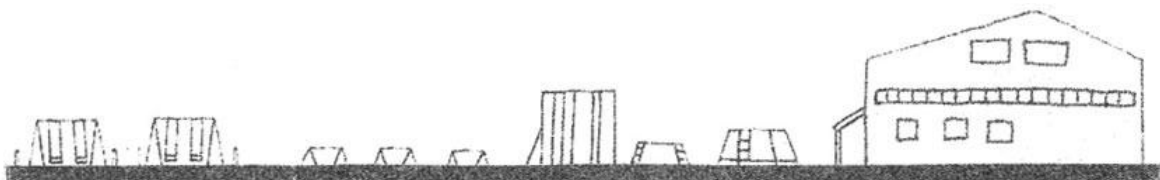
いる児は大人に抱っこを求めることが多く、抱っこすると安心して泣きやむ児が多かった。

### はとぐみ (1歳児)

排泄・おむつトレーニング・・・乳児期に反射的に行われていた排尿や排便は諸機能の発達に伴って、幼児期には尿意や便意を感じて自分の意志でトイレに行って排泄するまでになる。はとぐみでは、午後のおひるねの前に一度おむつ交換を行い、おひるねが終わって目がさめたら、トイレやおまるに誘導、トイレトレーニングが始まっていた。排尿がなくても、子どもたちにやさしく声をかけ、あせらず見守る姿勢、汚れたおむつは交換して清潔に保つことの必要性、また排泄後の手洗いも含め、子どもたちの日常生活の中にトイレで排泄、手洗いの習慣を確立していくことの重要性を改めて学んだ。

### つぼみ赤ぐみ (2歳児)

おひるね・・・2歳児になると、ひるねが1日に1回必要となるため日中2時間半程確保している。幼児は成人に比べて運動量が多く、あそびに夢中になっているとエネルギーを使い果たし、不機嫌になったり、不安定になる児がいるため効果的な午睡を行う必要があると考えられる。1～2歳児頃の幼児は、ねる際に不機嫌になったり、寝つくまでに時間がかかったりするため、静かな音楽を流したり、身体をさすったりといった援助が必要である。指しゃぶりなどの習癖がみられることがあるが、親から離れる時などに子どもなりに見つけた安心感を得るための方法であるので、無理にやめさせることはかえって行動を強化させてしまうため幼児の行動を尊重し、安心して眠れるようなかわり方が必要である。





### さくらぐみ (3 歳児)

言語と感情・・・言語として 3 歳児になると学習能力が高くどんどん語を増やしていると考えられる。下の名前や年齢などの簡単な質問に答えるようになっていたので、「おはようございます」「ありがとうございました」など基本的な挨拶ができるようになっていた。「それからね」「それでね」といった接続詞や「て、に、は、が、と」などの助詞をくみ合わせて長い会話をすることで考えをまとめて言うことの大切さを理解できた。感情として、怒りが少し見られることがあったが表情や仕草、言葉の発達に伴って上手く保育士へ子ども達は思いを伝えられていた。何にでも興味を持って、「なんで」「どうして」といった質問が増えており、それに対して正しい答えを伝えることができた。



### ほしぐみ (4 歳児)

体操教室・・・準備運動を行ったあと、8 人ずつ 2 つのグループに分かれ、マット運動が行われた。ほとんどの児は順番に並ぶことができ、仲のよい見同士の交流もみられ、他者との協調性、自己の欲求の統制方法を習得していたが、1 人が別行動をしだすと続いて何人も別行動をするようすもみられた。その時は注意するのではなく、出来ている児をほめることで自律を促していた。



### すみれぐみ (5 歳児)

あいうえお教室・・・文字と数字のワークは、A B の 2 つのチームに分かれ交代していた。外部講師の説明を聞かなくても自分でワークの説明を読み先にすすめる子どももいたが、大半の子どもは説明を聞き、すぐに始められるか、確認程度の質問ができるようになっていた。しかし、なかなか理解できない子どももおり、その中の一部は全くちがうことを書いているか、もしくはワークすらせず周囲の気をひこうとしている子どもも見られ発達の差が見られた。

